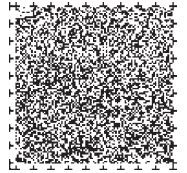


平成29年度発達障害臨床セミナーへのお誘い

発達障害情報・支援センター



昨年度に引き続いて、11月12日（日）の午後にセミナーを開催する運びとなりました。今回は、診断が難しく潜在化しやすいと言われている「女性の発達障害」に焦点を絞って、昨年度同様に基調講演・パネルディスカッションの2部構成といたしました。基調講演では国立精神・神経医療研究センターの神尾陽子先生をお迎えして、隠れた困難さへの気づきや支援についてお話いただく予定です。パネルディスカッ

ションも分野の一線でご活躍の先生方にお話しいただきます。受講していただけるのは各分野で発達障害者の支援業務に従事されている方となります。会場はJR品川駅前の「コクヨホール」で定員は300名です。応募締切を過ぎていても、定員に達していない場合は受講できますので、希望される方は下記の【お問い合わせ】までご連絡ください。

医療・福祉従事者のための 発達障害臨床セミナー

日時

2017年11月12日（日）
12:40～17:20（受付開始 11:40）

会場

KOKUYO HALL（コクヨホール）
東京都港区南1丁目8番地35号
JR品川駅南口（東口）より徒歩5分



参加費 1,000円（資料代として：当日受付にて現金徴収）
定員 300名（先着順）
（発達障害支援の分野で、医療・保健・福祉・教育・就労関係業務に従事している方向けの講演になります）

12:40～ 開講式
13:00～15:00 基調講演

「女性の発達障害～隠れた困難さに気づき、寄り添う支援へ～」

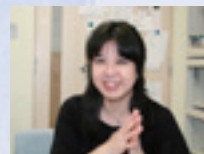
講師：神尾 陽子先生（国立精神・神経医療研究センター

精神保健研究所 児童・思春期精神保健部長）

第1部

神尾 陽子先生プロフィール

京都大学医学部卒業。ロンドン大学精神医学研究所（児童青年精神医学）修了。京都大学医学部附属病院精神神経科助手、米コネティカット大学フルブライト客員研究員、九州大学大学院人間環境学研究院助教授を歴任され、現在は国立精神・神経センター精神保健研究所 児童・思春期精神保健部 部長、山梨大学客員教授、お茶の水大学客員教授。



15:15～17:15 パネルディスカッション

「女性の発達障害 ～その特徴と必要な配慮～」

第2部

【コーディネーター】金 樹英（発達障害情報・支援センター 児童精神科医長）

【パネリスト】 笠原 麻里（駒木野病院 児童精神科 診療部長）
三樹 優子（神奈川県中央児童相談所 虐待対策支援課 児童福祉司）
小林 真理子（山梨英和大学 副学長）

【コメンテーター】 市川 宏伸（日本発達障害ネットワーク 理事長）

神尾 陽子（国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所 児童・思春期精神保健部長）

17:15～17:20 閉講式

【申し込み】

発達障害情報・支援センターホームページ（トップページ左下）より、申込フォームに従って直接お申込みください。ホームページ以外の申込方法を希望される方は、下記【お問い合わせ】先にご連絡ください。

応募締切 平成29年10月19日（木）

*入場には事前申込が必要です。
*ご参加いただける方へは別途ご連絡を差し上げます。

【お問い合わせ】

国立障害者リハビリテーションセンター 企画・情報部
発達障害情報・支援センター 林・叶野
TEL: 04-2995-3100（内線2591、2592）
FAX: 04-2995-3137 Mail: ML-hattatu-seminar@rehab.go.jp

主催：国立障害者リハビリテーションセンター発達障害情報・支援センター、厚生労働省
後援：文部科学省（予定）、発達障害者支援センター全国連絡協議会、日本発達障害ネットワーク

